

公表	保育所等訪問支援事業所における自己評価総括表
----	------------------------

○事業所名	NPO法人リアン LEGON Kids+		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 15日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種と連携を図り多方面から支援が行える	専門職と定期的に支援会議を開催することで、専門的な視点から、訪問先への助言を行っている	専門の知識を有する職員の訪問時間をより多く確保することで支援の充実を図る
2	経験豊富な職員が訪問を行うことで、より適切な訪問先への助言が行える	訪問先との情報共有の際、過去の事例等を踏まえ助言を行っている	訪問支援員が研修等に参加し、知見を深める
3	訪問先と事業所の役割を明確にすることで、適切な支援が行われている	訪問先との面談時間を定期的に確保することで短期的に目標を立て、一人一人に合った支援を行っている	訪問先に加えご家族との面談時間をより多く設ける

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	強度行動障害を有する児童への訪問時の支援時間が少ない	訪問支援員の中に、有資格者が少ない	本年度中に訪問支援員全員が強度行動障害の資格を取得する
2	保護者から訪問支援の要望はあるが、訪問先との連携が行えず、訪問支援を実行できない場合がある。	訪問先へ支援内容についての説明が不十分である可能性がある	より詳しく訪問先へ訪問支援内容の説明をわかりやすい形で行う
3	訪問先からの相談内容に対して、事業所が的確な回答を行えない場合がある	利用を開始し、間もない児童は日頃の様子を知ることが出来ないため、助言に時間を要している。	保護者や訪問先との会議時間をより多く確保し、本児の様子について詳しく知ること、早急に助言が行えるようにする